

宇部市中学校学力到達度調査結果

宇部市教育委員会

1 調査概要

(1) 目的

- 調査結果の分析をもとに教育に関する継続的な検証改善サイクルによって、児童生徒は自らの学習を見直し、学校や教師は児童生徒一人ひとりにきめ細かく対応した学習指導の充実や改善に取り組むとともに、宇部市教育委員会(以下、「市」という。)は教育施策の評価・改善を行い、児童生徒の学力向上を図る。

(2) 調査期日

平成23年4月19日(火)

(3) 4月19日に調査した学校数及び対象学年

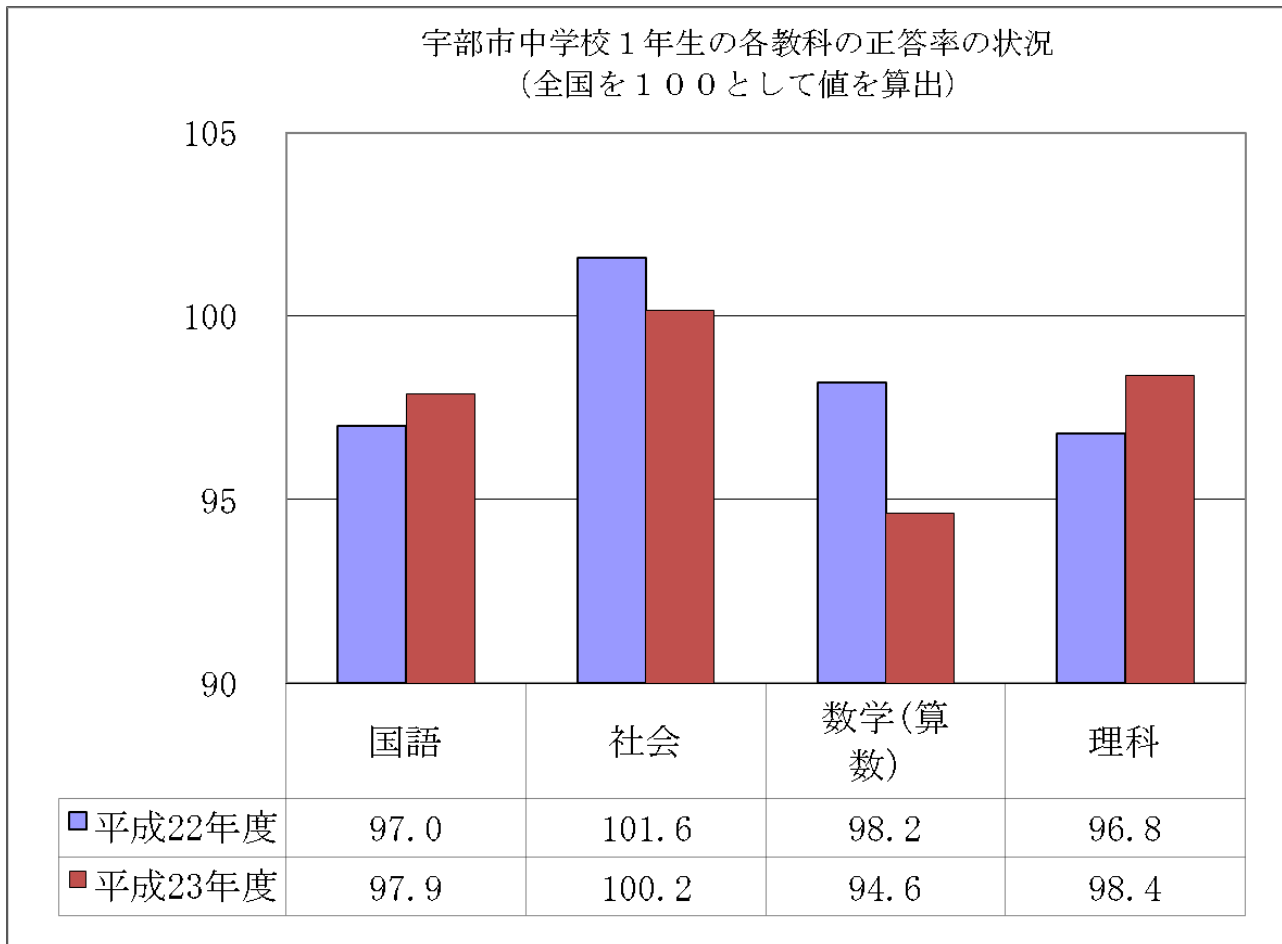
学校数	対象学年	対象人数
市立中学校13校	中学校第1学年	1436人

(4) 調査内容

- 教科に関する調査(小学校の学習内容)
 - 国語
 - 社会
 - 数学
 - 理科

2 教科に関する結果

(1) 全体結果



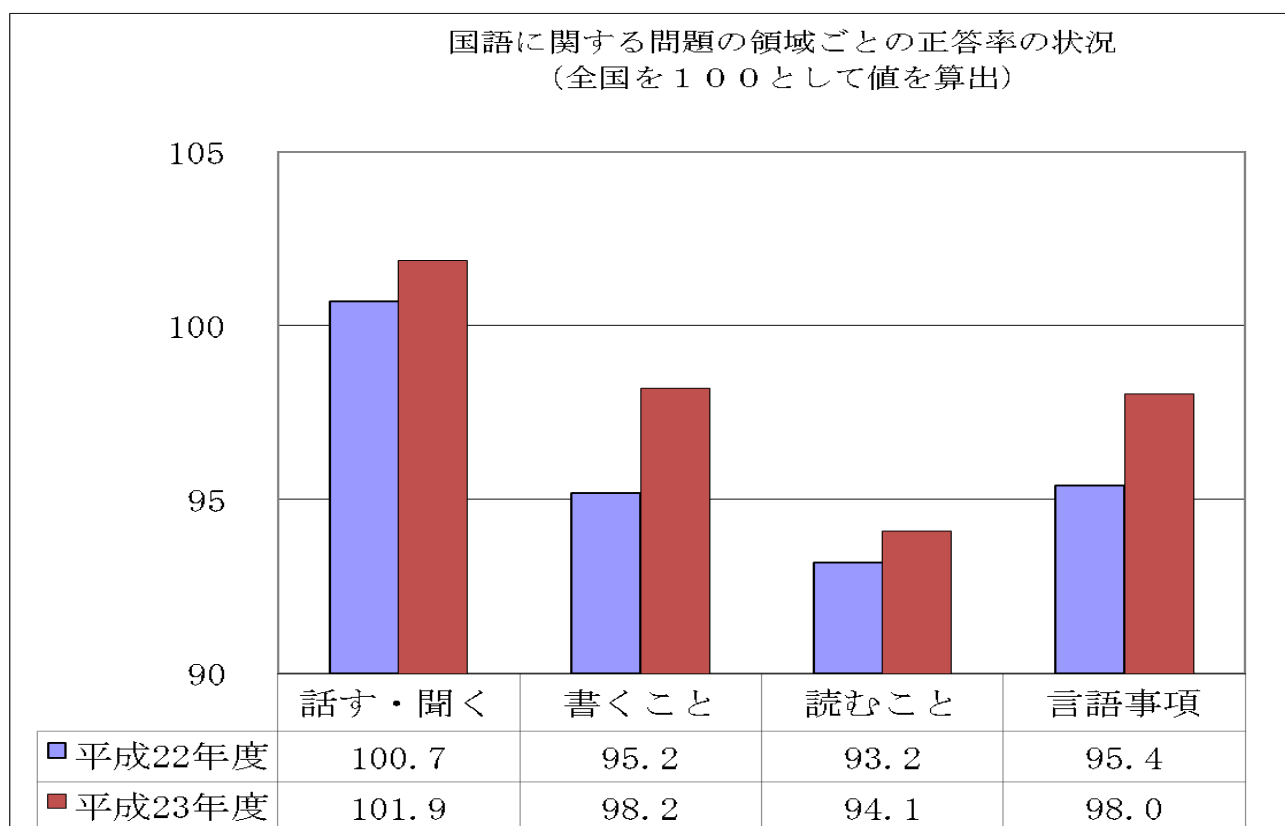
○ 正答率を全国の状況と比較すると、国語・数学（算数）・理科は低い傾向にあり、社会においては、全国と同程度の傾向にある。

なお、国語、理科については、昨年度の中学1年生と比べ、上回っている。国語では全ての領域について向上がみられた（領域別の結果参照）。理科では「生物」「地学」の領域について大きく向上がみられた（領域別の結果参照）。

それに対し、社会、数学（算数）については、昨年度の中学1年生と比べ、下回る結果となった。特に数学（算数）は「数量関係」の領域について昨年度の結果より大きく下回った（領域別の結果参照）。

(2) 教科における領域別の結果

① 国 語



【話すこと・聞くこと】

(状況) 全般的に全国を上回っている。

「目的や場に応じて話すこと」については全国の正答率よりやや高く、「意図を考えながら聞くこと」については全国の正答率と同程度であった。

【書くこと】

(状況) 全般的に全国をやや下回っている

特に、「文章の組み立ての効果を考えること」については、全国の正答率を100とした場合、94の正答率となり、差が大きく昨年度に引き続き課題がある。「目的や意図に応じた書き方の工夫」については、全国の正答率よりやや高い。

【読むこと】

(状況) 全般的に全国を大きく下回っており、本市の大きな課題である

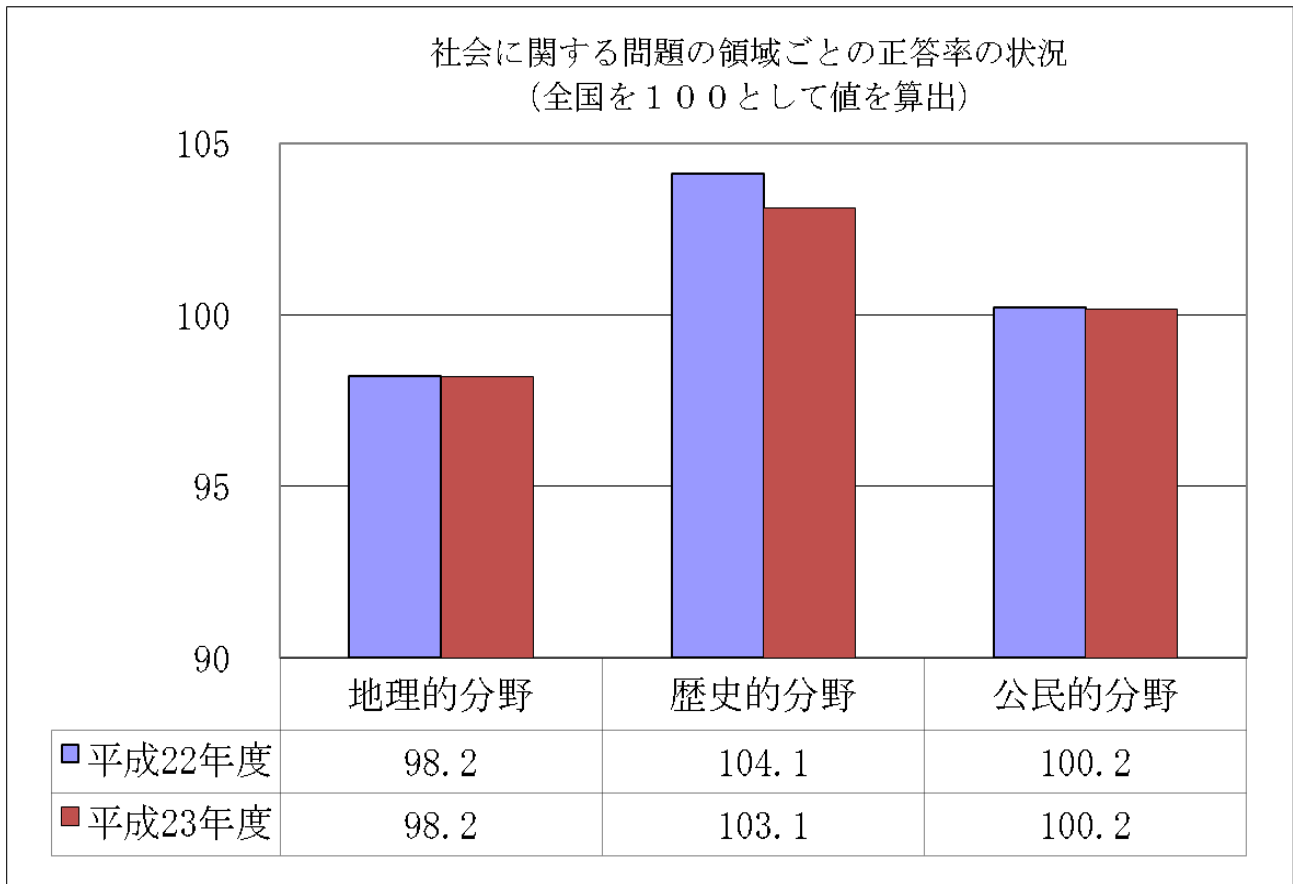
特に、「心情や場面描写を読み取ること」「要旨を読み取ること」については、全国の正答率を100とした場合、92、94の正答率となり差が大きい。

【言語事項】

(状況) 全般的に全国をやや下回っている。

「語句の類別や用法の違い」については全国の正答率と同程度であるが、「漢字の書き取り」「漢字の送りがな」については全国の正答率より下回っている。

② 社会



【地理的分野】

(状況) 全般的に、全国よりやや下回っている。

「日本の気候とくらし」「国土についての基礎的な知識」については全国と同程度である。ただし、「日本の工業地帯とその特色」については、全国の正答率を100とした場合、95の正答率となり、昨年度と同様全国と比べ下回っている。

【歴史的分野】

(状況) 全般的に、全国より上回っている。

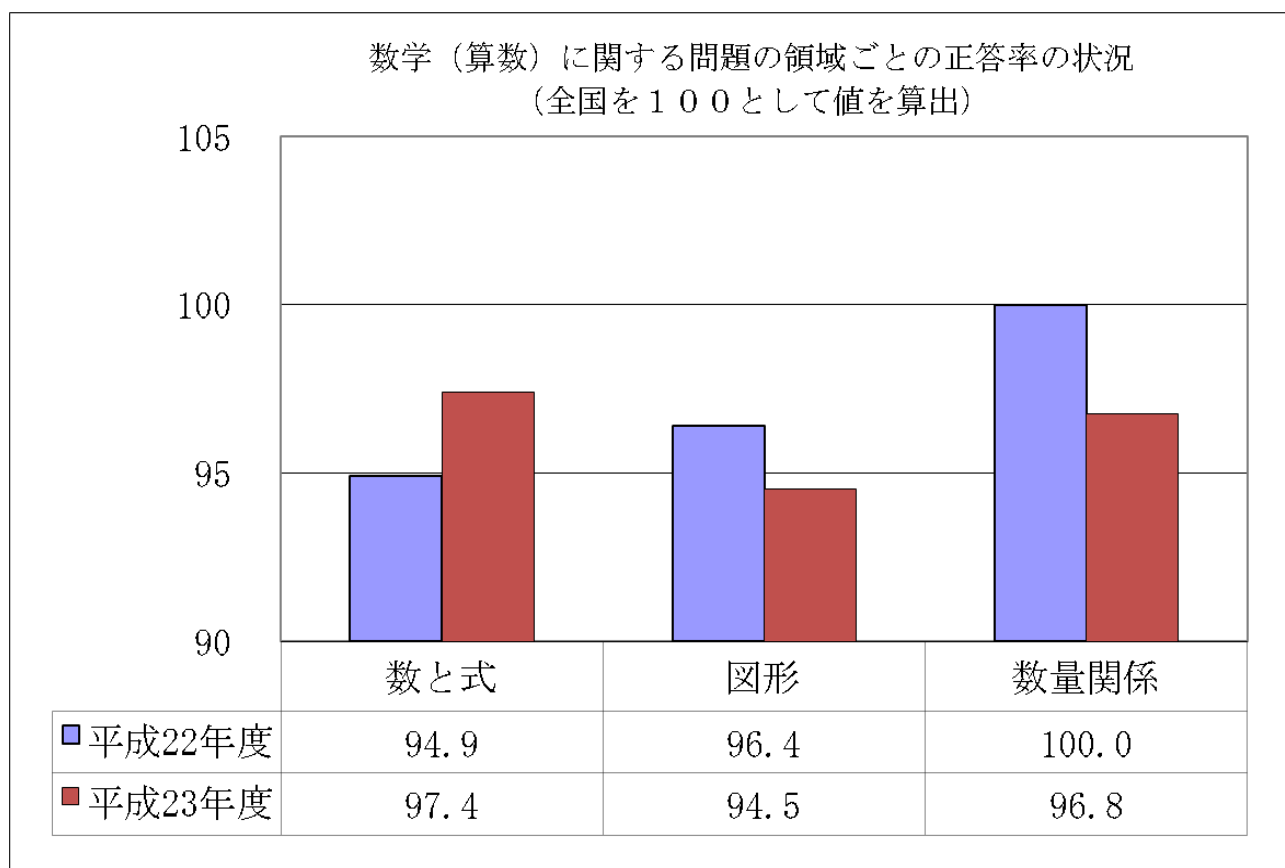
「縄文から古墳時代のようす」「貴族の世の中」「武士の世の中」「明治から昭和時代の出来事と人物」いずれも全国の正答率より上回っている。特に、「貴族の世の中」については大きく上回っている。

【公民的分野】

(状況) 全般的に、全国と同程度である。

ただし、「国民主権と政治のしくみ」の中の国会の働きや内閣の働き、また国会と総理大臣の選出については、全国の正答率より下回っており、昨年度に引き続き課題がある。

③ 数 学 (算 数)



【数と式】

(状況) 全般的に、全国をやや下回っている。

「最大公約数・公倍数」「分数の乗法除法の性質」については、全国の正答率を100とすると94、95の正答率となり、全国との差が大きい。「分数の乗法除法の性質」については、昨年度に引き続き課題がある。また、無答率も高い。ただし、「整数と小数のしくみ」については全国の正答率を上回っている。

【図形】

(状況) 全般的に、全国より下回っており、本市の大きな課題である。

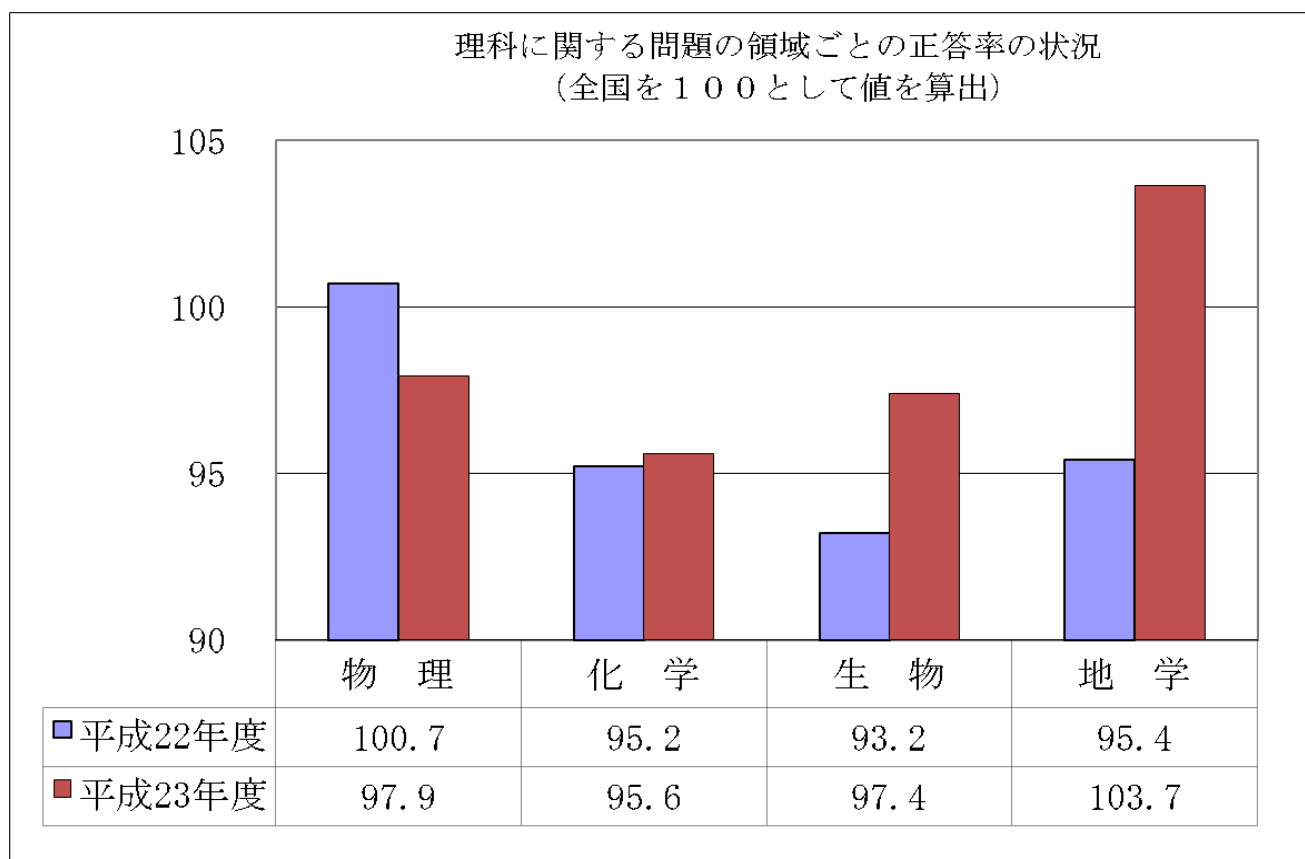
特に「平面図形」の対角線の性質については正答率が低く、全国の正答率と比較しても大きく下回っている。

【数量関係】

(状況) 全般的に、全国より下回っている。

特に「起こりうる場合」について正答率が低く、全国の正答率を100とすると83の正答率となり、全国との差が非常に大きい。「2つの量の関係や調べ方」については全国と同程度である。

④ 理 科



【物理】

(状況) 全般的に、全国よりやや下回っている。

特に、「電流のはたらき」については、全国の正答率を100とすると94の正答率となり、全国を大きく下回っており昨年度に引き続き課題である。「てこのはたらき」「もののあたため方や体積」については、全国の正答率を上回っている。

【化学】

(状況) 昨年度に引き続き全国より下回っており、本市の課題である。

「物の溶け方」については、全国をやや上回る正答率であるが、「水溶液の性質」「物の燃え方」については、全国の正答率を100とすると92、94の正答率となり、全国を大きく下回っている。

【生物】

(状況) 全般的に、全国よりやや下回っている。

「植物の成長としくみ」については、全国と同程度の正答率であるが、「動物の成長とくらし」「人のからだのつくりとはたらき」については、全国の正答率を100とすると、どちらも94の正答率となり、全国を大きく下回っており、昨年度に続き課題である。

【地学】

(状況) 全般的に、全国より上回っている。

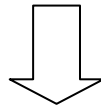
「星や月の動き」については、正答率が高く、全国の正答率を100とすると114の正答率となり、全国を大きく上回っており、昨年度に比べ改善された。

3 今後の取組

(1) 学校の取組

- ・データの分析及び課題の把握

- ・保護者、地域への情報提供
- ・学力向上プランの見直し
(「やまぐち学習支援プログラム」の評価問題の結果も踏まえて)

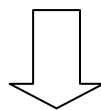


- ・児童の実態を踏まえ全教職員による実効性のある取組の推進
(校内研修の充実、授業改善、家庭学習の充実等)
(やまぐち学習支援プログラムの活用)
(効果的な少人数指導の取組)

(2) 教育委員会の取組

- ・宇部市の結果についてまとめを公表

- ・担当指導主事制度、学校訪問等を通じて、校内研修や授業改善の取組に対して指導・助言・支援
- ・研修主任による資料の活用方法の研修会の実施
- ・教育施策の充実・推進
(学びの創造推進事業、小・中学校共通の学力向上の取組)



- ・学校と一体となった学力向上対策の推進

